

高性能ステンレス加工開始



メタルワン精密金属(蘇州)外観

メタルワン精密金属(蘇州)

メタルワンが100%出資するステンレスコイルセンター「メタルワン精密金属(蘇州)有限公司」(所在地：中国・蘇州工業園区、原田直行総経理)が、6月からの商業生産を開始した。デジタル家電やIT向けに極薄ステンレス冷延製品を加工・販売する。初年度加工量は月間300ト、3年後をめどに同600トをめざし、07年売上高目標は30億円。

蘇州のステンレスC完成により、アジアでメタルワンが統括するステンレスCCの総生産能力は6万トで、タイ2拠点、シンガポール2拠点、香港、深圳の7拠点体制となった。現地日系ユーザーの需要にきめ細かく対応し、より高性能な製品を加工・販売する。

新工場のスリッター設備は650mm幅1基(0・112・0mm)、350mm幅1基(0・0510・6mm)。ステンレス部の藤原義久・海外・チタン課長は「コンセプトは国内ステンレスCCのサステックやステンレスワンと同じ製品の提供であり、汎用性のものでなく、永続性のある製品を提供していく」と話した。

開業式には新日鉄住金ステンレス、日新製鋼、日本冶金工業、日本金属の4社7人のほか、華東地区の日系企業23社32人など63人が出席した。来賓を代表して日本金属の坂東武郎社長が祝辞を述べた。

産業新聞 2006.07.18(朝) <一面掲載>